

発行者
上牧町社会福祉協議会
〒639-0214 上牧町上牧3245-1
(上牧町保健福祉センター内)
TEL 0745-76-6098
FAX 0745-79-2021



写真は、ホームヘルパー養成研修の修了式の様子。
(2004/12/17)
昨年8月から長期間ご苦労様でした。

預託者	金額
街頭募金	¥37,042
今村泰二	¥10,000
ちきゅうクラブ	¥20,000
さくらんぼクラブ	¥20,000
桜ヶ丘シルバークラブ	¥14,500
手話サークルたんぼぼ	¥10,000
梅ヶ丘シルバークラブ	¥9,448
虹の会	¥5,000
さつき会	¥20,000
ふれあいの会	¥3,570
友が丘ネット	¥25,000
あかね会	¥5,000
桜三会・桜ヶ丘三丁目子供会	¥14,000
募金箱	¥10,654
合計	¥204,214

送金先	送金額
兵庫県社会福祉協議会	¥51,053
京都府社会福祉協議会	¥51,053
新潟県北魚沼郡川口町	¥102,108

共同募金—結果報告—

昨年10月1日より活動してました第58回赤い羽根共同募金活動が昨年12月31日で終了しました。期間中、街頭募金や自治会募金などで多くの方々にご協力いただいた結果、上牧町での募金額は1,225,419円(目標額の97.3%)となりました。
また、台風23号災害や中越地震災害への義捐金を左記の方々よりお預かりしました。この義捐金は兵庫県社会福祉協議会・京都府社会福祉協議会・新潟県北魚沼郡川口町の3箇所に送金しました。
みなさまのあたたかいご協力ありがとうございました。

社協職員のつばやき③ (情報保障)

(前回より続く) 上牧を中心とした近隣の話しサークルなどからボランティアで手話通訳をご協力いただいた方は延べ50名に達しました。その結果、その年の12月には無事修了式を迎えることができ、現在はヘルパーとして活躍されています。

今回のケースでは多くの協力者のおかげで無事講習会への参加の機会を保障することができました。ですが次回も同じように聴覚障害を持つ方が講習会に参加できるとは残念ながら断言できません。参加の機会が保障できるように主催者である社会福祉協議会が今後も努力をしていくことは当然ですが、主催者の努力やボランティアの活躍だけでは対応できないというのが現実です。

先日、災害の際に避難命令が防災無線などで流されたものの聴覚障害を持つ方には避難命令が伝わらず避難ができなかったということがテレビのニュースで報道されていました。そのニュースでは今後このようなことが起きないようにメールなどを活用して災害や避難に関する情報などを流す取り組みが始まったという紹介で終わりましたが、情報保障の問題は単に講習会や資格取得の門戸が狭いということに留まらず生死にまで関わる大きな問題です。それにもかかわらず情報保障という大きな問題が私自身も含めてあまり一般的に認知されていないと感じたので、社協だよりを通じてみなさんにご紹介させていただきます。みなさんがこの問題を知ること、考えることが障害を持つ方の情報保障を進めていくこと、つまり第一歩になると考えます。

『もう一度生まれたい』
自閉っ子に生まれたい

この本は高機能自閉症(知的障害を伴わない自閉症)のニキさんと藤家さんが非自閉の編集者との対談です。

みなさんは「ご飯を食べに行こう」って言われてどう思いますか、自閉症者のニキさんは「おかずは食べないのかな」と感じてしまうそうです。このように互いに当たり前だと思っていることが自閉症の人には(非自閉の人には)違う感じ方をさせているんだと驚きながら、まるで異文化交流のように対談が進んでいきます。自閉症者の世界を少しでも伝えることができれば、自閉症児の育児や自閉症児の暮らしが楽になるのではとの思いからこの本は書かれました。



『自閉っ子、ここでいう風に生きてます!』 花風社

『痴呆症が「認知症」
名称が変わります』

昨年12月に痴呆症から認知症に変わりました。名称が変わっても介護する人、介護される人には何も影響はありません。ところで、認知症という病名をご存じですか? いきなり外に出ては帰ってこなかったり火気の使用で危険にさらしたりと、誤解や偏見から認知症にかかったことを隠そうとしたり恥ずかしいと思われる家族も少なくなく、地域で生活していくといった現状があります。

この度、奈良県を主催とし「もの忘れ地域サポーター養成セミナー」を開催します。内容は「認知症とは・本人の気持ち・地域の人の関わり」等。「サポーターとして」認知症に対する正しい理解を一人から二人、それ以上といった地域に促してみませんか。一緒に協力してくれる仲間が増えていくと思います。ぜひ、参加してみませんか。

日時 2月9日・10日(9時30分〜)
場所 市町村会館
(近鉄 畝傍御陵前下車スグ)
募集人数 5名

第2回子育てサポーター養成講座開催お知らせ

今年も子育てサポーター養成講座が開催されます。

子どものこと大好き！ かわいい子ども達のために地域を変えたい！と思っている貴方に受講していただきたい講座です。

現在上牧町では「次世代育成支援行動計画」作成中という子育てに関してはとても重要な時期であり、地域子育て支援力も問われています。子育て真っ最中の方も子ども大好きな先輩ママも受講していただき上牧町の子育て支援力を共に高めていきませんか？

場 所 上牧町保健福祉センター（2000年会館）

日 程 3月7日（月） 13：00～15：30

「地域社会から見る子育て支援」

大阪教育大学教養学部福祉学講座助教 新崎 国広氏

3月15日（火） 9：30～11：30

「コミュニケーション講座」

コミュニケーション・トレーナー 松林恵美子氏

3月23日（水） 9：30～11：30

「こどもと絵本を読みあう楽しさ」

絵本大好きおばちゃん 加藤 啓子氏

上記の他に2講座を予定しています。詳しくは、3月のチラシをご覧ください。

申込先 （社福）上牧町社会福祉協議会 TEL 0745-76-6098（担当：北嶋）

※ 全講座託児がございましたのでお申込み時にお知らせ下さい。

おひさま広場が始まります

平成17年度「おひさま広場」の申込みの時期になりました。

楽しみにしておられる方もたくさんおられる事と思います。このおひさま広場をもっとたくさんの方達にご利用していただけたらと考え、平成17年度おひさま広場は登録制となりました。誰でもいつからでも利用していただけて、ホッとできるスペースを目指します。今度の「おひさま広場」はお母さんにゆったりした気分を味わっていただく機会や自分たちで作りに上げていく楽しみを提供していきたいとスタッフ一同企画を練っています。みんなみんなお友達になりましょ！！きっと話せば子育てが楽しくなるはずです。

詳細は別紙のチラシをご覧ください。



リング&リングが 始まりました

1月9日（日）上牧町の2000年会館で、知的障害を持つ方の暮らしと夢を語る講座「リング&リング」を開催しました。この講座は知的障害を持つ本人・保護者・支援者を対象に「お金」「仕事」「仲間に相談すること」「一人暮らし」「恋愛」の5本立てで1月から5月まで毎月1回開催する予定です。今回は第1回目ということで「お金について」のテーマで話し合いをしました。



前半の講義では、講師に知的障害当事者グループの「ピープルファースト」から澤井さんをお招きして、自分でお金を管理するようになった最初は銀行の機械の使い方がわからなくて苦労したこと、お金の計算が合わなくて失敗したことなど、そして「こうやって失敗を繰り返しながら少しずつ自信をつけていくことはどうでしょうか？」という話をしていただきました。その後はみんなでホワイトボードに紙のお金を使ってワークショップをしました。



後半は座談会という形式で講師と参加者でお茶とケーキをつつきながら、質問やそれぞれ普段自分たちが困っていることや気をつけていることなどが飛び交いました。その中にはやっぱりみんな機械が苦手なことや、細かい金額になるとややこしくてお金を払うときに緊張するということが多かったようです。ですが、みんなの意見を聞いて「私だけが出来へんと思ってた」と安心する声や「難しいけどやっぱり自分で買いたい物するのは楽しい!!」というような声も出ていました。



こうして2時間ほどの講座でしたが第1回目は無事終了しました。そして早速1月のレスパイトサロンでは、1月15日（土）に「買い物に行こう!!」というメニューで橿原市のダイヤモンドシティ・アルルに行きました。おもちゃ・服・小物・アクセサリーなど利用者の方はそれぞれ買い物を楽しみました。



この「リング&リング」の講座は5月まで開催しますので興味のある方は上牧町社協までお問い合わせ下さい。